

鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第1集 (2007年)

鶴崎展巨¹・淀江賢一郎²

¹ 〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101
鳥取大学地域学部生物学研究室,
E-mail: ntsuru@rstu.jp

² 〒690-0862 松江市比津が丘2-1-7,
E-mail: yodoe@mable.ne.jp

¹Nobuo TSTURUSAKI (Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan) and
² Ken-ichiro YODOE (Hitsugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **A bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 1 (2007).**

キーワード — 鳥根県, 動物相, 記録, 文献目録

Abstract — This bibliography comprises literatures concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures published in 2007 as the first compilation of a new series that succeeds previous bibliographies for Tottori (Parts 1-8: 1993-2006) and Shimane (Parts 1-5: 1993-2006) Prefectures that have been compiled separately. Some literatures published before 2007 are also included when they did not appear in the previous bibliographical series.

Key words — bibliography, fauna, faunal records, Tottori Prefecture, Shimane Prefecture, San'in District

著者らはこれまで鳥取県と島根県の動物相に関する文献リストを1993年出版分から県ごとに作成してきた(鳥取県はPart 8, 島根県はPart 5まで: 末尾に掲載)。しかし, 両県にかかわる文献を個別に掲載することによるスペース面でのコストや, リスト原稿作成の時間的コストを軽減するため, 2007年発表分からは両県を統合したリストとして作成したい。

2007年中に刊行された文献が主体であるが, 前報までに掲載もれの文献も若干含む。最後に付録として, 両県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は3種)。

文献入手または文献情報収集にご助力をいただいた奥島雄一氏, 田村昭夫氏, 矢野重明氏に御礼申し上げます。

凡 例

採録範囲は, おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の

海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが, 本県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が狭いなどで, 最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント, 内部的報告書, 大学のサークル・学校のクラブ等の部内機関誌に掲載されたもの)も原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として, 短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も, 積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生・爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トンボ類/昆虫:直翅類/昆虫:半翅目/昆虫:甲虫/昆虫:双翅目/昆虫:鱗翅類/昆虫:膜翅目/昆虫:その他/クモガタ類・多足類/甲殻類/軟体動物/その他の無脊椎動物/化石・考古/その他), 著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは, 個々の文献の末尾に角かっこ([])内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

略号: HGF研報=ホシザキグリーン財団研究報告, 三瓶自然館研報=島根県立三瓶自然館研究報告, 鳥取県博研報=鳥取県立博物館研究報告, 比和科博研報=庄原市立比和科学博物館研究報告, NT=鶴崎展巨, KY=淀江賢一郎。

【総 合】

- 林 成多・山口勝秀・中野浩史・寺岡誠二・越川敏樹 (2007) 出雲平野の水路における水生生物調査 (2005年). HGF研報, 10: 1-18. [島根]
- 一澤 圭(編)(2007) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp./2007年7月14日~8月26日に鳥取県立博物館で開かれた「企画展 挑戦者たち—動物の適応進化と性淘汰—」の展示解説書. 800円 [鳥取]
- 小林朋道 (2007) 先生, 巨大コウモリが廊下を飛んでいます! 築地書館(東京) 184 pp. 1600円 [鳥取]
- 中野浩史・山口勝秀・越川敏樹(編)(2007) 第13回特別展「水に生きる昆虫-ふるさとの水辺から-」展示解説書「水に生きる昆虫」. 島根県立宍道湖自然館, 74 pp. [島根]
- 鳥取市歴史博物館(編)(2007) 樗谿叢書 第3集. 樗谿を歩く—歴史と自然のフィールドワーク. 鳥取市歴史博物館(鳥取市) 71 pp. (500円) [鳥取]
- 大橋川の汽水環境を調べる会(編)(2007) 2005年度(第16期)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成研究報告書 島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究. 大橋川の

- 汽水環境を調べる会 (松江市) 29 pp. [島根]
- 佐々木興・辻井要介・森茂晃・越川敏樹 (2007) 第14回特別展「里山の水辺に生きる」展示解説書。「里山のススメ」。島根県立宍道湖自然館。54 pp. [島根]
- 戸田顕史・布村 昇 (2007) 湿性地に生息する底生動物の分布調査と野外実験。pp. 17-19. In: 大橋川の汽水環境を調べる会 (編) 2005年度 (第16期) プロ・ナトゥーラ・ファンド助成研究報告書 島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究。大橋川の汽水環境を調べる会 (松江市)。29 pp. [島根]
- 鳥取大学地域学部地域環境学科 (編) (2007) 千代川の自然と人びとのかかわり。国土交通省 鳥取河川国道事務所 (鳥取市)。32 pp. [鳥取]
- 鳥取県生物学会 (2007) 鳥取県の外来性動植物のリスト (2007)。山陰自然史研究, 3: 37-45.
- 鶴崎展巨 (2007) 地理的分化のホットスポットとしての中国山地。タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 3-14. [鳥取]
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2007) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 8 (2003-2006年)。山陰自然史研究, 3: 27-36. [鳥取]
- 【哺乳類】**
- 富士原豪己・小林朋道 (2007) 鳥取市の低地山林における生息地分断化がアカネズミの遺伝的多様性に与える影響。山陰自然史研究, 3: 1-5. [鳥取]
- 大畑純二 (2007) 石見銀山遺跡大久保間歩のコウモリ。三瓶自然館研報, 5: 15-24. [島根]
- 作野広和 (2007) 農林地を活用した獣害回避技術の開発III。島根県におけるイノシシ被害の発生ポイント, 3 pp.+14 figs.+159 maps. 島根大学教育学部人文地理学研究室。[島根]
- 【鳥 類】**
- 江角薫子 (2007) 11月の城山の鳥たち。スペキュラム, 115: 8./2006.XI.5, 13種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 12月の城山の鳥たち。スペキュラム, 115: 9./2006.XII.3, 17種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 2月の城山の鳥たち。スペキュラム, 116: 10./2007.II.4, 23種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 3月の城山の鳥たち。スペキュラム, 117: 11./2007.III.4, 25種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 4月の城山の鳥たち。スペキュラム, 117: 11./2007.IV.8, 22種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 11月の城山の鳥たち。スペキュラム, 120: 6./2007.XI.4, 19種。[島根]
- 江角薫子 (2007) 12月の城山の鳥たち。スペキュラム, 120: 7./2007.XII.2, 16種。[島根]
- 秦 智秋 (2007) ノドグロツグミ益田市に出現。スペキュラム, 115: 6. [島根]
- 秦 智秋 (2007) 浜田港カモメ探鳥会報告。スペキュラム, 117: 10./2007.II.25, 9種。[島根]
- 平井健一 (2007) 飯梨川探鳥会報告。スペキュラム, 115: 8./2007.IX.17, 16種。[島根]
- 飯塚洋一 (2007) 大橋川河口ウォッチング。スペキュラム, 115: 9./2007.XI.30, 16種。[島根]
- 井山 明 (2007) 僅かな記録の鳥たち—島根か隠岐か。スペキュラム, 115: 2./ハシグロヒタキ。[島根]
- 井山 明 (2007) 瀧の内の鳥たち。スペキュラム, 115: 10./2006.XII.10, 17種。[島根]
- 井山 明ら (2007) 秋季に十六島を通過する鳥類。スペキュラム, 117: 2-6./65種。[島根]
- 井山 明・井山有三・白石和道・山田浩二・秦 智秋・森茂晃 (2007) 島根県における稀な鳥類。HGF研報, 10: 309-317. [島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙写真と解説。スペキュラム, 115: 表紙, 1./2006.XI.29, ナベヅル, 宍道湖西岸。[島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙写真と解説。スペキュラム, 116: 表紙, 1./2006.XI.29, ヒメシジュウカラガン, 出雲市灘分。[島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙写真と解説。スペキュラム, 117: 表紙, 1./2007.III.30, タンチョウとナベヅル, 出雲市灘分。[島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙写真と解説。スペキュラム, 118: 表紙, 1./2007.V.22, サンショウクイ, 奥出雲町。[島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙と解説。スペキュラム, 119: 表紙, 1./2007.VII.5, クロツラヘラサギ, 斐伊川河口。[島根]
- 北脇 務 (2007) 表紙写真と解説。スペキュラム, 120: 表紙, 1./2007.XII.10, ナベヅル, 出雲市灘分町。[島根]
- 北脇 務 (2007) 斐伊川河口の鳥たち(11月)。スペキュラム, 120: 6-7./2007.XI.11, 26種。[島根]
- 森 茂晃 (2007) 冬鳥見送りバードウォッチング。スペキュラム, 117: 11-12./2007.III.11, 27種。[島根]
- 森 茂晃 (2007) ふれあいの里探鳥会報告。スペキュラム, 119: 6./2007.VI.17, 掛合町, 29種。[島根]
- 森 茂晃 (2007) 宍道湖西岸のピオトープ池で確認された鳥類 (2003年4月-2005年3月)。HGF研報, 10: 299-307. [島根]
- 本吉洋子 (2007) 飯梨川1000回シギ・チドリ (1990年~2006年9月17日) データ。スペキュラム, 115: 3. [島根]
- 本吉洋子 (2007) 2006年飯梨川島根レッドデータ。スペキュラム, 116: 8. [島根]

- 本吉洋子 (2007) 飯梨川1000回 (1990年～2006年9月17日) データ. スペキュラム, 117: 7. [島根]
- 本吉洋子 (2007) 飯梨川2007年春のシギ・チドリ. スペキュラム, 118: 2. [島根]
- 本吉洋子 (2007) 飯梨川フィールドノート. スペキュラム, 119: 2. [島根]
- 本吉洋子 (2007) 飯梨川フィールドノート. スペキュラム, 120: 2. [島根]
- 長廻哲雄 (2007) タカの渡り. スペキュラム, 116: 5-6. / 大社町日御碕追石鼻. [島根]
- 長廻哲雄 (2007) 十六島探鳥会報告. スペキュラム, 116: 9. / 2006.X.22, 22種. [島根]
- 長廻哲雄 (2007) 鼻高山タカの渡りウォッチング. スペキュラム, 118: 7. / 2007.IV.15, 24種. [島根]
- 長廻哲雄 (2007) ハヤブサの繁殖. スペキュラム, 119: 4. [島根]
- 長廻哲雄 (2007) 十六島探鳥会報告. スペキュラム, 120: 5-6. / 2007.X.21, 19種. [島根]
- 佐藤仁志 (2007) 斐伊川河口の鳥たち(1月). スペキュラム, 116: 9-10. / 2007.I.21, 33種. [島根]
- 杉本章 (2007) 赤青黄色に白黒の鳥07(鰐淵寺). スペキュラム, 118: 8. / 2007.V.20, 24種. [島根]

【両生類・爬虫類】

- 林 成多 (2005) 鰐淵寺におけるカエル類の観察記録 (2003-2004). HGF研報, 8: 1-12. [島根]
- 林 成多 (2005) 島根県におけるシロマダラの採集例. HGF研報, 8: 184. [島根]
- 林 成多 (2006) 出雲市鰐淵寺におけるモリアオガエルの産卵(2005年). HGF研報, 9: 66. [島根]
- 一澤 圭 (2007) 鳥取県用瀬町で発見されたツチガエルのアルビノ個体. 山陰自然史研究, 3: 19-20. [鳥取]
- 桐原佳介 (2007) 鳥取県米子市岡成におけるイシガメの記録. 山陰自然史研究, 3: 21. [鳥取]
- 桐原真希 (2007) 鳥取県南部町の低標高地で確認されたヒダサンショウウオ. 山陰自然史研究, 3: 18. [鳥取]
- 松井正文 (2007) 両生類相から見た中国山地. タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 34-37. [鳥取・島根]
- Matsui, M., Nishikawa, K., Misawa, Y., Tanabe, S. (2007) Systematic relationships of *Hynobius okiensis* among Japanese salamanders (Amphibia: Caudata). Zoological Science, 24: 746-751. [島根]
- 尾原和夫 (2007) タカチホヘビを松江市枕木山で採集. 山陰自然史研究, 3: 22. [島根]
- 岡田 純 (2007) 倉吉市河来見国府川からのオオサンショウウオの記録. 山陰自然史研究, 3: 20-21. [鳥取]

- Tominaga, A. and Matsui, M. (2007) Estimation of the type locality of *Hynobius naevius* (Temminck and Schlegel, 1838), a salamander from Japan (Amphibia: Caudata). Zoological Science, 24: 940-944. [鳥取・島根]
- 鳥取県教育委員会 (2007) 特別天然記念物オオサンショウウオ調査事業報告書. 鳥取県教育委員会, 193 pp. + 55 pp. (地図編) [鳥取]

【魚 類】

- 堀之内正博 (2007) 水生植物群落に関係した魚類の分布. pp. 15-16. In: 大橋川の汽水環境を調べる会 (編) 2005年度 (第16期)プロ・ナトゥーラ・ファンダ助成研究報告書 島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究. 大橋川の汽水環境を調べる会 (松江市) 29 pp. [島根]
- 越山敏樹 (2007) シンジコハゼとビリンゴの稚・幼魚期における頭部周辺斑紋の相違. HGF研報, 10: 318. [島根]
- 中村幹雄(監修)日本シジミ研究所 (2007) 宍道湖と中海の魚たち. 山陰中央新報社 (松江市) 211 pp. 2191円 [島根・鳥取]
- 富室孝人・秋吉英雄 (2007) 斐伊川河口域のヨシ帯における幼魚 (仔魚・稚魚・若魚) の出現種と季節変化について. HGF研報, 10: 289-297. [島根]
- 美見昭光 (2007) 宍道湖におけるコノシロの大量斃死と貧酸素水塊との関連性について. LAGUNA, 14: 77-82. / 宍道湖下層以下の水域が貧酸素水塊になった時、コノシロの産卵魚の大量斃死に関与する可能性があるという. [島根]

【昆虫：総合】

- 英 裕人(編) (2007) 昆虫関連団体雑誌年鑑2007. フタオ会 (鳥取市), 164 pp. 2500円 [鳥取・島根]
- 林 成多 (2007) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相 (2) レッドデータブック掲載種と希少種の記録. HGF研報, 10: 225-229. [島根]
- 林 成多・中野浩史 (2007) 島根県松江市澄水川の水生昆虫. HGF研報, 10: 199-205. [島根]
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, 55: 51-54. [島根]
- 中村慎吾・羽尻光宏 (2007) 島根県高津川の昆虫類, 2005年の調査結果. 比和科学博物館研究報告, 48: 103-264. / 国土交通省の河川水辺の国勢調査, 3季で1374種. 1995年は1037種, 2000年は1396種, これらを合わせると計2175種が確認されたことになる. [島根]
- 尾原和夫 (2007) 断魚溪の水生甲虫4種. すかしば, 55:

50. [島根]

【昆虫：トンボ目】

- 福井修二 (2007) 飯南町でゲンバイトンボが採集される。すかしば, 55: 50. [島根]
- 皆木宏明 (2007) 島根県西部で初記録となるコバネアオイトンボ (トンボ目: アオイトンボ科) について。三瓶自然館研報, 5: 27-28. [島根]
- 三島寿雄 (2007) 枕木山でオオルリボシヤンマを採集。すかしば, 55: 12. [島根]
- 長瀬 翔 (2007) 神戸川でキイロヤマトンボの幼虫を採集。すかしば, 55: 28. [島根]
- 長瀬 翔 (2007) 島根半島でムカシトンボの幼虫を確認。すかしば, 55: 44. [島根]
- 大浜祥治 (2007) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集。すかしば, 55: 24. [島根]
- 祖田 周・大浜祥治 (2007) 2006年島根県の秋季飛来アカトンボの記録。すかしば, 55: 60. [島根]

【昆虫：直翅目】

- 林 成多 (2007) 島根県におけるバッタ・コオロギ・キリギリス類の記録。HGF研報, 10: 119-141. [島根]
- 川上 靖 (2007) フキバッタにみられる「形質置換」—別種の♂が交配の邪魔をするから形が変わる?—。p. 42. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp. [鳥取]
- 川上 靖 (2007) セトウチフキバッタ群 (直翅目バッタ科) の各地理型間にみられる「移行帯」とその形成過程の推定。タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 15-19. [鳥取]
- 大浜祥治 (2007) 2006年隠岐・島前で確認した直翅類。すかしば, 55: 55-60. [島根]
- 山田 学 (2007) 益田市匹見町でのヒョウノセンクチキウマの目撃・撮影記録。すかしば, 55: 11-12. [島根]

【昆虫：半翅目】

- 林 成多 (2007) 島根半島におけるウミミズカメムシの生息状況。HGF研報, 10: 115-118. [島根]
- 桐原佳介 (2007) 大山 (鳥取県大山町) におけるアカエゾゼミの記録。山陰自然史研究, 3: 11. [鳥取]
- 國本洗紀 (2007) 最近10年間のアブラゼミの羽化数。ゆらぎあ, 25: 22. [鳥取]
- 吉岡誠人 (2007) 島根県東出雲町でトガリアメンボを確認。

HGF研報, 10: 257-260. [島根]

吉岡誠人 (2007) 島根県東部でアワダチソウゲンバイの生息を確認。すかしば, 55: 39-40. [島根]

【昆虫：甲虫目】

- 藤原淳一 (2007) 島根県松江市におけるベーツヒラタカミキリの発生状況 (2)。HGF研報, 10: 207-210. [島根]
- 藤原淳一・林 成多 (2007) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相 (1) ホソカミキリムシ科・カミキリムシ科・ハムシ科 (甲虫目ハムシ上科)。HGF研報, 10: 211-223. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根県産水生甲虫類の分布と生態。HGF研報, 10: 77-113. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (3) エリザハンミョウ。HGF研報, 10: 114. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (4) カラカネハマベエンマムシ。HGF研報, 10: 114. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (5) ハマベエンマムシ。HGF研報, 10: 148. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (6) ウミベアカバハネカクシ。HGF研報, 10: 198. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (7) ツヤウミベハネカクシ。HGF研報, 10: 206. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (8) ホソセスジヒゲブトハネカムシ。HGF研報, 10: 224. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (9) オサムシモドキ。HGF研報, 10: 230. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (10) コケシガムシ。HGF研報, 10: 288. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (11) ヒメホソハマベゴミムシダマシ。HGF研報, 10: 298. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (12) ホソナギサハネカムシ。HGF研報, 10: 308. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (13) アカウミベハネカムシ。HGF研報, 10: 318. [島根]
- 林 成多 (2007) 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (14) カワチマルクビゴミムシ。HGF研報, 10: 328. [島根]
- 林 成多・門脇久志 (2007) 鳥取県大山山麓の河川に生息する水生甲虫類。HGF研報, 10: 149-168. [鳥取]
- 林 成多・島田 孝 (2007) 隠岐島後におけるマルハナノミ科の記録。HGF研報, 10: 143-147. [島根]
- 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島。HGF研報, 10: 37-76. [島根]
- 桐原佳介・菱谷眞一郎・菱谷泰志 (2007) 鳥取県米子市に

おけるオオクワガタの記録. 山陰自然史研究, 3: 15-16.
[鳥取]

小早川 誠 (2007) 島根県内にてシャープゲンゴロウモドキを採集. すかしば, 55: 49-50. [鳥根]

國本洗紀 (2007) コガタノゲンゴロウの生態 (その3) 水田の水管理の影響. ゆらぎあ, 25: 1-9. [鳥取]

Naomi, S. (2006) Taxonomic revision of the genus *Stenus* Latreille, 1797 (Coleoptera, Staphylinidae, Steninae) of Japan: species group opf *S. (Hypostenus) rufescens* Sharp. Natural History Research, Special Issue (Natural History Museum and Institute, Chiba), No. 9, pp. 81 pp. / 10新種3新亜種を含む日本産トビイロメダカハネカクシ種群の分類学的改訂. 鳥取市鹿野町河内から1998年に記載された *Stenus tsurusakii* Naomi を再記載. その後, タイプ産地以外からの新たな産地確認はなされていない由. 鳥取県と岡山県に分布する *Stenus akajagai* Hromadka 1982の検討標本に三朝温泉, 大山が含まれる. [鳥取]

大浜祥治 (2007) 鳥根県西部におけるゲンゴロウ数種の記録. すかしば, 55: 54. [鳥根]

佐藤隆士 (2007) 鳥取県からのクワノコブコブゾウムシの採集例と越冬生態に関する知見. 月刊むし, 440: 44-45. / 鳥取県初記録のクワノコブコブゾウムシの記録 (鳥取市久松山 5-III-2007, 1 個体). 常緑広葉樹林に生息する種で中国地方ではこれまで広島と山口で記録があり, 山口県版RDBでは準絶滅危惧という. [鳥取]

佐藤隆士・田村昭夫・長谷川寿一・國本洗紀・川上 靖 (2007) 鳥取県の直翅系昆虫. 鳥取県博研報, 44: 9-36. [鳥取]

佐藤隆士・和田年史・岡 努・川上 靖 (2007) 鳥取市久松公園からのオオクワガタの採集記録. 山陰自然史研究, 3: 16-17. [鳥取]

曾田貞滋 (2007) 分子系統・化石記録によるネクイハムシ類の歴史生物地理. タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 31-33. [鳥取・鳥根]

吉岡誠人 (2007) 飯梨川水系および意宇川水系のヒメドロムシ類. HGF研報, 10: 235-256. [鳥根]

吉崎正弘 (2007) 8月上旬における大山の甲虫. すかしば, 55: 40. [鳥取]

皆木宏明 (2007) 鳥根県で初記録のクチキクシヒゲムシ(コウチュウ目: クシヒゲムシ科)について. 三瓶自然館研報, 5: 29-30. [鳥根]

【昆虫：双翅目】

皆木宏明 (2007) 鳥根県初記録となるフクイアナバチ(ハチ目: アナバチ科)について. 三瓶自然館研報, 5: 25-26. [鳥根]

【昆虫：鱗翅目】

有田 斉 (2005) ゼフィルス類数種の変異型(異常型)について. ゆずりは, 24: 44. / 国府町高岡, 1995.VI.11羽化, 白化個体. [鳥取]

有田 斉 (2006) 西日本のキマダラモドキの分布と変異について. ゆずりは, 29: 42-46. / 鳥取県から旧佐治村辰巳峠. [鳥取]

筆谷憲一 (2007) 鳥根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2006年. すかしば, 55: 41-43. [鳥取・鳥根]

橋本秀明 (2007) シルビアシジミの軽微な異常型を採集. ゆらぎあ, 25: 20. [鳥取]

橋本説朗 (2007) 日本のヒメシジミの変異. 蝶研フィールド, 252: 15-30. / 大山産標本を図示. [鳥取]

伊藤 寿 (2007) 鳥根県浜田市・江津市でホシミスジを採集. すかしば, 55: 32. [鳥根]

桐原佳介 (2007) 鳥取県米子市におけるオナガミズアオの記録. 山陰自然史研究, 3: 11-13. [鳥取]

桐原佳介 (2007) 鳥取県米子市におけるハマオモトヨトウの記録. 山陰自然史研究, 3: 13-14. [鳥取]

桐原佳介 (2007) 鳥取県西伯郡南部町におけるクロメンガタスズメの記録. 山陰自然史研究, 3: 13-14. [鳥取]

Komeyama, K. and Hoshikawa, K. (2007) Rapid growth at lower temperatures by the larvae of *Celastrina sugitanii* (Lepidoptera, Lycaenidae). Trans. Lepid. Soc. Japan, 58: 245-251. / 材料は三朝町産. [鳥取]

京都大学蝶類研究会 (編) (2005) 2004年日本産蝶類採集情報. SPINDA, 20: 106-142. / 米子市水鳥公園, 2004.IX.4, 15 exs. ツマグロキチョウ. [鳥取]

京都大学蝶類研究会 (編) (2007) 2006年日本産蝶類情報. SPINDA, 22: 106-148. / 扇の山のウラクロシジミ, 鳥取市内のキマダラルリツバメ, 米子市のシルビアシジミなど. [鳥取]

三島秀夫 (2007) 鳥根県のヤガあれこれ. すかしば, 55: 22-23. [鳥根]

三島秀夫 (2007) 矢野重明先生採集のヤガ2つ. すかしば, 55: 24. [鳥根]

三島秀夫 (2007) 注目すべき鳥根県のが数種について. 三瓶自然館研報, 5: 31-34. / ヒメクロイラガ (大田市富山, 2006.VIII.19), クロメンガタスズメ (大田市長久町, 2005.IX.1), ヒコサンアカヨトウ (大田市富山町, 2006.VII.24), チビウスキヨトウ (大田市富山町, 2006.V~2006.VIII), アサマキシタバ (大田市三瓶町, 2006.VI.5), マイコトラガ (大田市三瓶山北の原, 2006.V.1). いずれも鳥根県初記録 (ヒコサンアカヨトウは隠岐で1例がある). [鳥根]

三島昭一 (2007) 蝶類異常型レポート. すかしば, 55: 29-32.

- [鳥取・島根]
- 三島昭一 (2007) 島根県三瓶山産ホシミスジの覚え書き. すかしば, 55: 33-34. [鳥根]
- 三島昭一 (2007) 島根県産ホシミスジの分布と一考察. すかしば, 55: 34-35. [鳥根]
- 三島昭一 (2007) スギタニルリシジミを島根県赤来町で採集. すかしば, 55: 35-36. [鳥根]
- 三島昭一 (2007) ゴマシジミの異常型の報告. すかしば, 55: 36. [鳥根]
- 三島寿雄 (2007) 鳥取県西部のギンイチモンジセセリの分布. ゆらぎあ, 25: 21. [鳥取]
- 三島寿雄 (2007) シルビアシジミの新産地. ゆらぎあ, 25: 20. [鳥取]
- 光枝 洋 (2003) 鳥取県のカミキリムシ3種. 月刊むし, 395: 46. / クビアカモモトホソカミキリ, キイロメダカカミキリ, ズマルトラカミキリ(いずれも三朝町三徳山にて採集). [鳥取]
- 三宅誠治 (2007) 中国地方のクロミドリシジミ. 月刊むし, 437: 42-47. / 中国五県における発見の経緯と記録のまとめ. 鳥取県と島根県に少ないのは食樹クヌギとアベマキの少なさに要因があるとしている. (KY) [鳥取・島根]
- 村上 豊 (2006) アサギマダラのギナンドロモルフオその後. We love アサギマダラ情報, 253: 8. / 1971.VII.21, 大山横手道で採集されたギナンドロモルフオ個体の採集者が下野賢太郎氏であることが判明. 標本は大阪市立自然史博物館保管. [鳥取]
- 那須義次・村濱史郎・坂井 誠・山内健生 (2007) 日本において鳥類の巣・ペリットおよび肉食哺乳類の糞から発生したヒロズコガ (鱗翅目, ヒロズコガ科). 昆虫 (ニューシリーズ), 10: 89-97. / 出雲市多伎町のツバメの巣からのイガ *Tinea translucens* (ヒロズコガ科) とナガノミ科の1種 *Ceratophyllus forreni chaoi* の記録が含まれる. [鳥根]
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007) 安来市赤江町の蛾類. すかしば, 55: 19-22. [鳥根]
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007) 出雲市上塩冶町の蛾類. すかしば, 55: 25-27. [鳥根]
- 尾原和夫・大浜祥治・三島秀夫 (2007) 2005年島根県浜田市弥栄村程原林道の蛾類記録. すかしば, 55: 27-28. [鳥根]
- 大浜祥治 (2007) 隠岐・西ノ島でアカシジミを採集する. すかしば, 55: 28. [鳥根]
- 小野克己 (2007) 中国地方のウスバシロチョウ (2). 蝶研フィールド, 251: 2-14. / 多数の鳥取県産ウスバシロチョウをカラー図示され, 白化, 黒化という変異幅が論じられている. (KY) [鳥取]
- 坂田国嗣 (2007) 島根県内でミドリヒョウモン雌黒色型を撮影. すかしば, 55: 5. [鳥根]
- 坂田国嗣 (2007) 米子市でのムラサキツバメ観察. すかしば, 55: 7-11. [鳥取]
- 坂田国嗣 (2007) 米子市湊山公園で3化と思われるコムラサキ確認. すかしば, 55: 11. [鳥取]
- 坂田国嗣 (2007) 島根県奥出雲町でウスバシロチョウ黒化型確認. すかしば, 55: 6. [鳥根]
- 坂田国嗣 (2007) ツマグロヒョウモン山陰での越冬態の考察. すかしば, 55: 11. [鳥根]
- 杉本博美 (2007) 2007年アサギマダラマーキングの報告. ゆらぎあ, 25: 15-16. [鳥取]
- 田村昭夫 (2007) イチジクヒトリモドキ鳥取県に侵入. ゆらぎあ, 25: 18-19. [鳥取]
- 田村昭夫 (2007) クロメンガタズメ2007年の動向. ゆらぎあ, 25: 16-17. [鳥取]
- 山脇清高 (2007) 大山でヒメアケビコノハを採集. ゆらぎあ, 25: 19. [鳥取]
- 矢野重明 (2007) 鳥取県西部産蛾類資料 (1). ゆらぎあ, 25: 10-15. [鳥取]
- 横倉 明 (2005) ヒメシジミの魅力. Butterflies (フジ), 39: 15-. / 大山中の原, 片見峠の2箇所のヒメシジミ異常個体がカラー図示されている. [鳥取]
- 淀江賢一郎 (2007) 鳥取県大山でクジャクチョウが観察される - 鳥取県で2例目の記録. Butterflies (フジ), 44: 60-61. / 2006年9月8日, 大山榎水原にて松岡嘉之氏が撮影. 小林一彦氏のご教示による1952年 (あるいは1953年) の白兔海岸のクジャクチョウの記録も紹介. 小林先生の追悼記事を含む. [鳥取]
- (有)蝶研出版(編) (2007) 蝶研マップ5 中国・四国編, 127 pp. 8000円. / 鳥取市のキマダラルリツバメ, 匹見町のフジミドリシジミなどのポイントマップが含まれる. [鳥取・島根]
- 渡辺通人 (2007) 越英夫先生採集の収蔵標本. 山梨の昆虫, 50: 1325-1380. / 島根県産標本が少数含まれる. なかに1973.VI.15, 三瓶山, タイワンモンシロチョウ, 1♀の記録がある. この標本は渡辺氏の御厚意で現在淀江の手元にある. (KY) [鳥根]

【昆虫：膜翅目】

- Matsumoto, R. and Konishi, K. (2007) Life histories of two ichneumonid parasitoids of *Cyclosa octotuberculata* (Araneae): *Reclinervellus tuberculatus* (Uchida) and its new sympatric congener (Hymenoptera: Ichneumonidae: Pimplinae). Entomological Science, 10: 267-278. / *Reclinervellus* 属のヒメバチ2種の生活史と記載。

Reclinervellus tuberculatus の分布図に大山付近のプロットがみえる。ただし、本文中の検討標本にはデータが抜けている。[鳥取]

【昆虫：その他】

- 野崎隆夫・中村慎吾 (2007) 広島県で採集されたトビケラ成虫の記録(第2報). 比和科学博物館研究報告, 48: 91-101. / 鳥取県日南町多里で採集されたトビケラ成虫の記録が付け加えられている。[鳥取]
- 田村昭夫 (2007) チョウセンカマキリの記録. ゆらぎあ, 25: 23. [鳥取]
- 田村昭夫 (2007) ヒメカマキリの記録. ゆらぎあ, 25: 23. [鳥取]
- 一澤 圭 (2007) 砂粒のすきまでくらす—鳥取砂丘のトビムシたち—. pp. 19-20. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp. [鳥取]
- 一澤 圭 (2007) 樹上生活に挑戦した土壌動物. —木にのぼるトビムシとササラダニ—. p. 34. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp. [鳥取]
- 【クモガタ類・多足類】
- Ehara, S. and Goto, T. (2007) Two new species of *Oligonychus* closely related to *O. gotohi* Ehara (Acari: Tetranychidae). *International Journal of Acarology*, 33: 15-20. / ゴトウツメハダニ *Oligonychus gotohi* Ehara の同胞2新種の記載。うち1種, クリノツメハダニ *O. castaneae* Ehara & Goto, 2007の検討標本に鳥取県産個体が含まれる (青谷町2雌, 2-X-1992)。[鳥取]
- 井原 庸 (2007) 中国地方におけるナミハグモ属とヤミサラグモ属の交尾器形態の多様性と地理的分化のパターン. タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 20-30. [鳥取・島根]
- Kamura, T. (2005) Description of the male of *Phrurolithus labialis* (Araneae: Corinnidae). *Acta Arachnologica*, 54: 93-94. / 岩美町陸上からの *Phrurolithus labialis* Paik, 1991 ウスイロウラシマグモの記録が含まれる。[鳥取]
- Kamura, T. (2006) Spiders of the genus *Haplodrassus* (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. *Acta Arachnologica*, 53: 95-103. / *Haplodrassus nojimai* Kamura, 2006 ホウキハイタカグモを倉吉市オケ崎をタイプ産地として記載。*Haplodrassus pugnans* (Simon 1880) ハイタカグモの鳥取砂丘からの記録も含まれる。[鳥取]
- 小川光昭・中村慎吾・羽尻光宏 (2007) 島根県高津川の真正クモ類, 2005年の調査結果. 比和科博研報, 48: 53-67. / 105種. 1995年は80種, 2000年は113種, 合わせ整理すると計157種が確認された。[島根]
- 小川光昭 (2007) 庄原市立比和自然科学博物館に収蔵された2004~2006年に採集された真正クモ類. 庄原市立比和自然科学博物館標本資料報告, No. 7, pp. 1-55. / 鳥取県日南町および島根県内の記録が多数含まれる。[鳥取・島根]
- 佐藤隆士・和田年史・中島ちづる・鶴崎展巨 (2007) 新たに確認された鳥取県東部のワスレナグモの生息地. 山陰自然史研究, 3: 6-10. [鳥取]
- Tsurusaki, N. (2007) Chapter 6. Cytogenetics. In: Pinto da Rocha, R., Machad, G. and Giribet, G. (eds.) *The Harvestmen: The Biology of Opiliones*. Harvard University Press, Cambridge, Massachusetts, 597 pp. / 染色体交雑帯の例として鳥取県智頭町芦津溪のイラカザトウムシの $2n=16/22$ 集団の交雑帯の例を紹介。[鳥取]
- 鶴崎展巨 (2007) 地理的分化のホットスポットとしての中国山地. タクサ (日本動物分類学会会誌), 22: 3-14. / 中国山地で地理的分化のみられる動植物の例を紹介。山陰側では鳥取県の千代川, 日野川, 島根県の高津川の3河川に東西の地理的分化の境界が集中する。[鳥取・島根]
- 鶴崎展巨 (2007) 14章 土壌動物の分布・地理変異・生物地理の研究法. pp. 127-132. In: 日本土壌動物学会 (編) 金子信博・鶴崎展巨・布村 昇・長谷川元洋・渡辺弘之 (編) 土壌動物学への招待. [採集からデータ解析まで] 東海大学出版会 (東京) 261 pp. / 地理的分化の研究例として中国地方のゴホンヤリザトウムシ, ナガエヤミサラグモ, ヒライワスベザトウムシとヤマスベザトウムシの中国山地における地理的分化を紹介。[鳥取・島根]
- 鶴崎展巨 (2007) 鳥取県からのクロガケジグモ (ウシオグモ科) の生息確認. 山陰自然史研究, 3: 24-26. [鳥取]
- 鶴崎展巨・川口みなこ・船倉大和・松本 透 (2007) 鳥取県内のキノボリトタテグモの新産地. 山陰自然史研究, 3: 23-24. [鳥取]
- Uliana, M., Bonato, L. and Minelli, A. (2007) The Mecistocephalidae of the Japanese and Taiwanese islands (Chilopoda: Geophilomorpha). *Zootaxa*, 1396: 1-84. / 日本および台湾のナガズジムカデ科 (Mecistocephalidae) の分類学的改訂. *Arrup cf. holstii* (ツメジムカデ近似種?): 江府町毛無山, 810-860 m, 1♂1♀垂成体, 23-IX-1999, N. Tsurusaki leg.; 鳥取市湖山天神山, 1♀, 21-IV-1993, N. Tsurusaki) の記録が含まれる。毛無山

の標本が図示されている。ほぼ, *Arrup holstii* (Pocock 1895) (ツメジムカデ)であるが, わずかに形態差がみられる。[鳥取]

Starý, J. (2005) Records of oribatid mites (Acari, Oribatida) of the families Galumnidae, Galumnellidae and Parakalummidae from Japan with description of two new species of the genus *Pergalumna*. *Biologica*, Bratislava, 60: 107-111. / 鳥取県各地からの土壌リターサンプルに基づくフリソデダニ科, フリソデダニモドキ科, ケタフリソデダニ科のササラダニ合計8種の記録。うちフリソデダニ科の *Pergalumna tsurusakii* n. sp. (タイプ産地: 鳥取市鹿野町河内のタケ林)と *Pergalumna rotunda* n. sp. (タイプ産地: 鳥取市御熊御熊神社) は新種として記載。アキタフリソデダニ (鹿野町河内), アラゲフリソデダニ (鳥取市矢矯, 久松山など多数地点), *Pergalumna ventralis* (鳥取市矢矯, 倉田神社, 久松山など多数地点。本種は日本新記録), フリソデダニモドキ科のフリソデダニモドキ (鳥取市浜坂神社), ケタフリソデダニ科のフクロフリソデダニ (大山二ノ沢, 鳥取市久松山, 若桜町岩屋堂など多数地点, ホソフリソデダニ (鳥取市矢矯と里仁)。[鳥取]

鶴崎展巨 (2007) 日本海の砂浜探訪—イソコモリグモと海浜性巣穴形成アリジゴクを求めて—。pp. 16-19. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp. [鳥取]

【甲殻類】

Ariyama, H. (2007) Species of the genus *Kamaka* (Crustacea: Amphipoda: Kamakidae) from Japan: *Kamaka biwae* and *K. morinoi* sp. nov. *Species Diversity*, 12: 141-160. / 汽水産ヨコエビの *Kamaka morinoi* Ariyama, 2007 (和名: モリノカマカ)を新種として記載。タイプシリーズに宍道湖と湖山池の標本が含まれる。[鳥取・島根]

Ariyama, H. (2007) Species of the genus *Kamaka* (Crustacea: Amphipoda: Kamakidae) from Japan: *Kamaka excavata* sp. nov. and *K. kuthae*. *Species Diversity*, 12: 255-270. / *Kamaka excavata* Ariyama 2007 (ヘコミカマカ)を新種として記載。分布は徳島県, 島根県 (中海, 大橋川, 宍道湖), 九州の汽水域。[島根]

長澤和也・海野徹也・上野大輔・大塚 攻 (2007) 魚類寄生虫またはプランクトンとして出現する日本産ニセエラジラミ科カイアシ類の目録 (1895-2007年). *日本生物地理学会会報*, 62: 43-62. / 魚類寄生虫またはプランクトンとして出現するニセエラジラミ科カイアシ類の分布情報の目録。 *Ergasilus divergens* (湖山池・東郷池),

ウキニセエラジラミ *E. genuinus* (多鯰ケ池, 湖山池, 東郷池: 非寄生でプランクトンとしてのみ出現), *E. sp. 2* (多鯰ケ池, 湖山池, 東郷池), トゲウオジラミ *Thersitina gasterostei* (湖山池, 東郷池, 宍道湖), オオユビニセエラジラミ *Nipergasilus bora* (神西湖。宿主: ポラ) [鳥取・島根]

【軟体動物】

清井武志・秋吉英雄 (2007) 島根県内の社寺林叢における陸生貝類(軟体動物門腹足綱)の生態学評価. *HGF研報*, 10: 277-287. [島根]

倉田健吾・平塚純一 (2007) ヤマトシジミとホトトギスガイの個体群動態. pp. 2-14. In: 大橋川の汽水環境を調べる会 (編) 2005年度 (第16期) プロ・ナトゥーラ・ファン ド助成研究報告書 島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究. 大橋川の汽水環境を調べる会 (松江市) 29 pp. [島根]

古林敏彦 (2007) 宍道湖・中海水域における貝類の生息状況. *HGF研報*, 10: 261-264. [島根]

品川 明 (2007) ヤマトシジミ代謝産物による大橋川の水環境評価, pp. 20-22. In: 大橋川の汽水環境を調べる会 (編) 2005年度 (第16期) プロ・ナトゥーラ・ファン ド助成研究報告書 島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究. 大橋川の汽水環境を調べる会 (松江市) 29 pp. [島根]

辻井要介・山口啓子 (2007) タニシ類における植物プランクトンの抑制能力. *HGF研報*, 10: 265-272. [島根]

和田年史 (2007) 繁殖行動の観察から推測されたコウイカ類の異なる2つの性淘汰プロセス. p. 52. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち —動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp. [鳥取]

【その他の無脊椎動物】

小林垂鈴・五箇公一・久保田 信 (2007) コノハクラゲ (ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目) のポリプの本州中部日本海沿岸とその沖合の島嶼への新たな出現. *日本生物地理学会会報*, 62: 43-62. / コノハクラゲの分布記録として島根県 (松江市島根町加賀漁港, 浜田市瀬戸ヶ島町。[島根]

幸塚久典・秋吉英雄 (2007) 隠岐島後における浅海産不正形ウニ類 (棘皮動物門: ウニ類). *HGF研報*, 10: 169-197. [鳥取]

【その他】

- 國本洸紀 (2007) 小林一彦さんを悼む. 山陰自然史研究, 3: 46. [鳥取]
- 永幡嘉之 (2007) 追悼・小林一彦先生. すかしば, 55: 13-16. [鳥取]
- 佐藤隆士 (2007) 鳥取県立博物館の取蔵庫内での害虫モニタリング結果と今後の対策. 鳥取県博研報, 44: 55-65. [鳥取]
- 和田年史 (2007) 山陰海岸学習館には何が求められているか?—アンケート調査に基づく“来館者の声”の分析—. 鳥取県博研報, 44: 67-71. [鳥取]
- 淀江賢一郎 (2007) 追悼・竹内亮先生. すかしば, 55: 17-18. [鳥取]

■鳥取県内のタイプ産地

1. 鳥取市鹿野町河内のタケ林: *Pergalumna tsurusakii* Starý, 2005 (ダニ目ササラダニ亜目フリソデダニ科). 鹿野町河内の法師が滝登山口に近い標高300 mの地点の道路脇のマダケ林 (35° 24'05"N, 134° 01'16"E) のリターをツルグレン装置にかけて抽出された標本が使用されている。採集日は1989年5月10日で、同地点は、メダカハネカクシの1種 *Stenus (Hypostenus) tsurusakii* Naomi, 1998のタイプ産地にもなっている。
2. 鳥取市御熊御熊神社: *Pergalumna rotunda* Starý, 2005 (ダニ目ササラダニ亜目フリソデダニ科)
3. 倉吉市オケ崎: *Haplodrassus nojimai* Kamura, 2006 ホウキハイタカグモ (クモ目ワシゲモ科)

■本稿の前身のシリーズ

- 鶴崎展巨 (1995) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 1 (1993-1994). 鳥取生物, 28: 23-33.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (1996) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 2 (1994-1995). 鳥取生物, 29: 9-17.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (1997) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 3 (1996). 鳥取生物, 30: 33-38.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (1998) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 4 (1997). 鳥取生物, 31: 5-13.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (1999) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 5 (1998). 鳥取生物, 32: 6-11.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2001) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 6 (1999-2000). 鳥取生物, 33/34: 25-34.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2002) 鳥取県の動物に関する文献目録 Part 7 (2001-2002). 鳥取生物, 35: 11-19.
- 鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2007) 鳥取県の動物相に関する文献目録 Part 8 (2003-2006). 山陰自然史研究, 3: 27-36.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1997) 島根県の動物相に関する文

- 献目録 Part 1 (1993-1995). HGF研報, 1: 15-33.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1998) 島根県の動物相に関する文献目録 Part 2 (1996-1997). HGF研報, 2: 91-107.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2000) 島根県の動物相に関する文献目録 Part 3 (1998-1999). HGF研報, 4: 7-26.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2004) 島根県の動物相に関する文献目録 Part 4 (2000-2002). HGF研報, 7: 1-27.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2008) 島根県の動物相に関する文献目録 Part 5 (2003-2006). 山陰自然史研究, 4: 68-86.